

2022年12月15日 NO.132号 障害児・者サークル通信



発行：性教協★障害児・者サークル事務局
〒591-8046 大阪府堺市北区東三国ヶ丘町5-2-10 千住方
E-mail seikyokyo_kansai@yahoo.co.jp
HP <http://shogaiji.seikyokyo.org/>

●座談会：「特別支援学校の寄宿舎って何？」～寄宿舎の意義・役割・性教育～	1
●2022 全国寄宿舎学習交流集会 in おおさか 第一分科会「生活を豊かにする性教育」	5
●支援者・保護者のための障害児・者性教育セミナー in ふくい報告	6
●第2回 障害児・者サークル学習会の報告 10月16日(日)	7
●連載「親ばなれー子ばなれ」(その9)	8
●「障害と生きる」青年たちの今から その4	10
●第28回障害児・者全国セミナーにご参加ください!	11
●新アイコンが決定しました～!	11
●「第8回 せいかつをゆたかに障害児・者性教育セミナー」へのお誘い	12
●地域活動支援金について	12

座談会：「特別支援学校の寄宿舎って何？」 ～寄宿舎の意義・役割・性教育～

今回、サークルの会報担当をしている編集委員の会議の中で、「寄宿舎って何？寄宿舎生活の中での性教育を知りたいという人もいるのでは？」と声がありました。編集委員以外でも関係する方へ声をかけをさせていただき、9人で交流することができました。参加者（仮名です）の職種は、現寄宿舎指導員はじめ、元寄宿舎指導員、元教員などさまざまです。内容は「寄宿舎って何？寄宿舎の意義・役割について」「寄宿舎での性教育」二つの内容で交流した一部をまとめましたので紹介させていただきます。

「寄宿舎って何？寄宿舎の意義・役割について」

司会：今日はお忙しい中ありがとうございます。寄宿舎についてざっくばらんにお話できたらと思います。最初は、埼玉県から。小学部から高等部の子どもたちが遠距離や教育的や家庭の事情で入り、家族のように生活しています。県内には5校の寄宿舎があり、盲学校1校、聴覚障害2校、肢体不自由2校です。他県では統廃合、閉舎が進んでいる所もあ

ります。埼玉は今のところありませんが、今後の不安はあります。子どもたちは仲間と一緒にの余暇時間を楽しんでいます。

はる：東京都は、「寄宿舎はお金がかかる」と言って推進計画でつぶされていきました。現在、寄宿舎は盲学校4校、病弱肢体1校、全部で5校。寄宿舎は家庭を離れて生活の力を身につけたいという本人の願いが多い。学校ではできない生活の場です。

にのん：福井県の寄宿舎は6校です。県は今のところ統廃合は考えていないようで、今年は退職者がいないにも関わらず新採用をしました。通学困難か家庭の事情か教育的目的の理由で入舎しています。異年齢の子ども同士の間わりで成長していくのが寄宿舎です。

うい：子どもの育ちは子どもの中でこそ育つだろうというのが前提です。障害のある子に対しては家庭から離れて仲間と暮らすことがマイナスに捉えられていて、親が育てるべきとか家族が見るべきと